

宮城県感染症発生動向調査情報

令和03年09月09日発行

2021.8.30 ~ 2021.9.5 - 第35週 -

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市		宮城県(含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第32週	第33週	第34週	第35週
水痘					1 0.33	1 0.20		2 0.07	4 0.07	283				
流行性耳下腺炎	2 0.50							5 0.19	7 0.12	120				
感染性胃腸炎	6 1.50	19 1.90	1 0.20	8 4.00	4 1.33	16 3.20		78 2.89	132 2.28	4,379	◎	◎	◎	◎
手足口病				10 5.00	8 2.67	1 0.20	3 1.50	3 0.11	25 0.43	147				○
伝染性紅斑									0 0.00	37				
突発性発しん	2 0.50	1 0.10	4 0.80		1 0.33			10 0.37	18 0.31	961		○		レ
ヘルパンギーナ			1 0.20		5 1.67			1 0.04	7 0.12	41				
インフルエンザ									0 0.00	12				
咽頭結膜熱		1 0.10						1 0.04	2 0.03	452				
流行性角結膜炎									0 0.00	50				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50	7 0.70				2 0.40		5 0.19	16 0.28	781				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎									0 0.00	33				
クラミア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	27 6.75	12 1.20	14 2.80			46 9.20		24 0.89	123 2.12	4,969	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1											
	川崎病													
	不明発疹症							5						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 女性1名(第33週)
栗原管内 男性1名(第33週)
仙台管内 男性4名
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 男性1名(第34週)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 男性1名(O26), 女性1名(O26)
登米管内 男性1名(O26), 女児1名*(O26)

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名(第34週)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名(Enterobacter aerogenes)
(第34週)
仙台管内 女性1名(Enterobacter cloacae)
侵袭性肺炎球菌感染症
大崎管内 女性1名(第33週)
梅毒
仙台管内 男性1名, 女性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症

仙南管内 男性29名, 女性12名
塩釜管内 男性81名, 女性76名
大崎管内 男性12名, 女性16名
栗原管内 女性2名
登米管内 男性5名
石巻管内 男性18名, 女性9名
気仙沼管内 男性3名, 女性5名
仙台管内 男性38名, 女性24名(第34週)
男性82名, 女性58名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【手足口病】

栗原管内で、警報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

塩釜管内 第35週採取分	SARS-CoV-2	4件
石巻管内 第35週採取分	SARS-CoV-2	13件
気仙沼管内 第35週採取分	SARS-CoV-2	7件
腸管出血性大腸菌感染症患者より		
塩釜管内 第35週採取分	O26	2件
登米管内 第35週採取分	O26	1件
感染性胃腸炎患者より		
塩釜管内 第34,35週採取分	ヒパレコウイルス1型	5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		
	第32週採取分 (8.9~8.15)	中 間 報 告 第33週採取分 (8.16~8.22)	第34週採取分 (8.23~8.29)
RSウイルス	4件	1件	1件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件
ラインフルエンザウイルス3型	0件	3件	0件

4. 今週のコメント

【手足口病】

乳幼児を中心に、手や足、口の中などに水疱性の発疹ができる急性ウイルス性の感染症です。夏風邪やインフルエンザと似た症状を引き起こすことがあります。例年は第30週前後にピークが認められますが、2020年は流行はありませんでした。これに対し、今週栗原管内で警報レベルを超えました。現時点で1保健所管内の流行となっていますが、今後広がりをみせる可能性もあることから、動向に注意が必要です。

【感染性胃腸炎】

県内の保育施設において感染性胃腸炎の集団発生があり、原因としてヒパレコウイルスが検出されました。ヒパレコウイルスは主に小児の胃腸炎や呼吸器感染症を引き起こすウイルスです。消毒用エタノールの効果は弱く、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。子供と接する機会が多い方は手洗いやマスクの着用などの感染対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

